

## 5.図書館評価指標および目標値

### 令和4年度結果と令和5年度目標値

#### 基本データ

評価項目	1.図書館職員の研修受講		
内容	図書館関連の研修への職員参加を別表のとおりポイント化し、目標値以上のポイントになるように努力することで、職員のレベルアップにつながることを目的とする。直営で運営されている図書館では職員のレベルアップがサービス向上に直結する。研修の参加だけでなく、外部講師経験や認定資格保持者、休日を利用した自主的な学習に対してもポイントが認められる。		
令和4年度の 結果	目標達成率60%。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からZOOMやオンラインにより実施されたきた研修が対面によるものに戻ってきたため、参加することが難しくなってしまった。		
令和5年度の 算出根拠	前年度実績値から目標値を設定した。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	年間30ポイント (正職員11人)	年間48ポイント (正職員11人)	年間30ポイント (正職員11人)
実績値	年間68.5ポイント (正職員11人)	年間29ポイント (正職員11人)	

評価項目	2 人口1人当たり貸出冊数		
内容	図書館全体の利用状況を評価するために最も一般的に用いられる指標は貸出冊数であるが、人口当りに換算することで利用の活発な他の自治体と比較することが可能になる。		
令和4年度の 結果	貸出数378,605冊÷人口(4/1現在)78,343人=4.83冊。目標達成率93%。 貸出冊数については、減少傾向にある。		
令和5年度の 算出根拠	アウトリーチサービスを実施するなど、多方面から貸出冊数の増加へつなげる。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	5.00冊	5.20冊	5.00冊
実績値	5.18冊	4.83冊	

評価項目	3 有効登録者数		
内容	有効登録者数は、登録者のうち1年間に利用のあった人数。実際に利用を行っている利用者数を把握することが出来る。		
令和4年度の 結果	達成率66%。利用者数の減少とともに有効登録者数も減少している。		
令和5年度の 算出根拠	利用者増加策を講じ、令和3年度の実績値に近い数値まで戻すことを目標とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	11,800人	11,800人	10,000人
実績値	10,630人	7,795人	

評価項目	4 開架の貸出可能資料の蔵書回転数		
内容	各図書館の開架に置かれている資料が年間どのくらい借りられているかを表す指標。開架の貸出可能資料の蔵書回転数は、年間貸出延べ冊数÷開架の資料数で求める。		
令和4年度の 結果	市立図書館、こども図書館とも目標を達成できなかった。 市立図書館 貸出数246,465冊÷開架資料数102,221冊＝2.4(達成率92%) こども図書館 貸出数111,418冊÷開架資料数34,276冊＝3.3(達成率94%)		
令和5年度の 算出根拠	令和3年度の実績値と同等の数値を目標とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	市立図書館 2.6 こども図書館 3.4	市立図書館 2.6 こども図書館 3.5	市立図書館 2.6 こども図書館 3.4
実績値	市立図書館 2.6 こども図書館 3.4	市立図書館 2.4 こども図書館 3.3	

評価項目	5 開架蔵書新鮮度		
内容	各図書館の開架に置かれている資料が年間どのくらいの割合で入れ替えられるのかを示す指標。各館年間受入冊数÷開架の資料数で求めることができる。「4開架の貸出可能資料の蔵書回転数」と合わせて比較することで蔵書の新鮮度と回転率との相関を把握できるのが利点。一定以上の新鮮度を保ち続けることを目指す。		
令和4年度の 結果	こども図書館は目標を達成できたが、市立図書館は達成できなかった。 市立図書館 受入数3,557冊÷開架資料数102,221冊＝3.5% こども図書館 受入数2,187冊÷開架資料数34,276冊＝6.4%		
令和5年度の 算出根拠	新たな資料を受け入れるとともに、開架の資料を整理して新鮮度を保つ。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%	市立図書館 4.4% こども図書館 6.0%
実績値	市立図書館 4.5% こども図書館 5.3%	市立図書館 3.5% こども図書館 6.4%	

#### 基本方針Ⅰ 安心・安全で充実した読書環境の提供

評価項目	6 ホームページの調査関係ページ閲覧件数		
内容	飯能市立図書館ホームページ内で調査等に使われる「地域情報関連索引」及び「調べもの」の閲覧回数の合計を指標とする。非来館サービスの1つとしてインターネットによる情報提供の利用状況がわかる。		
令和4年度の 結果	目標達成率77%。閲覧件数2,152件で目標を達成できなかった。		
令和5年度の 算出根拠	ホームページ掲載情報を適宜更新し、利用の増加を図る。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	2,800件	2,800件	2,400件
実績値	3,246件	2,152件	

評価項目	7 地域・郷土行政資料受入冊数		
内容	郷土行政資料は市販されていないものが多いため、図書館側で一方的に受入を増やすことは難しい。しかし毎年目標値以上の郷土行政資料を受け入れることは、地域情報の収集に力を入れている証明になり、長期にわたり継続して一定数の資料を受け入れることで貴重な郷土資料コレクションが構築される。		
令和4年度の 結果	目標達成率76%。目標を達成できなかった。		
令和5年度の 算出根拠	1年間に発行される郷土行政資料の推定冊数を目標値として設定する。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	250冊	250冊	200冊
実績値	267冊	189冊	

評価項目	8 行政刊行物の収集率		
内容	飯能市の行政資料の収集について確実な収集が行えているかを評価する。博物館と図書館合同で毎年各課に照会して集計した行政刊行物データをもとに、前年度に刊行された行政刊行物のうち、どのくらいの割合を収集できたかを評価する。		
令和4年度の 結果	収集済数77点÷行政刊行物データ掲載数78点=99% 外部に公開できないとの申し入れがあった資料が1点あったため、その分目標に達することができなかった。		
令和5年度の 算出根拠	飯能市が刊行した行政刊行物については、当館でそのすべてを収集する必要があることから、100%を目標とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	100%	100%	100%
実績値	100%	99%	

## 基本方針Ⅱ 課題解決型支援サービスの充実

評価項目	9 レファレンス受付件数		
内容	課題解決型図書館として機能しているかを「業務量」の観点から評価する指標。 レファレンスには一般的な質問のほか、所蔵調査・読書相談を含むが単純な資料リクエストや館内施設・利用案内は含まない。		
令和4年度の 結果	目標達成率126%。目標を上回った。		
令和5年度の 算出根拠	レファレンスとしてカウントする基準を統一、徹底することとし、目標値を設定した。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	市立図書館・こども図書館合計 年間1,680件	市立図書館・こども図書館合計 年間2,000件	市立図書館・こども図書館合計 年間1,200件
実績値	年間合計2,073件 (市立図書館 1,211件 こども図書館 862件)	年間合計2,512件 (市立図書館 939件 こども図書館 1,573件)	

評価項目	10 レファレンスの掲載件数		
内容	課題解決型図書館として、図書館サービスの「質」を維持・向上させるための指標。 レファレンスの回答経緯を記録して国立国会図書館のレファレンス共同データベースへ掲載した件数。図書館のホームページからもアクセスできる。 今後のレファレンスツールとして活用できるだけでなく、レファレンスについて外部から閲覧できるようにすることで利用者自身による課題解決の促進を行うため指標とする。		
令和4年度の 結果	目標達成率50%。レファレンスの受付件数が減少していることも原因の一つと考えられる。		
令和5年度の 算出根拠	前年度実績値を上回る値を目標値とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	20件	20件	15件
実績値	20件	10件	

評価項目	11 他機関・市役所他部署との連携事業数		
内容	飯能市立図書館内に留まらず、市民への情報提供のため他機関・市役所他部署との連携は重要である。そのための連携事業数を指標とする。		
令和4年度の 結果	目標達成率217%。目標値を大きく上回った。		
令和5年度の 算出根拠	令和4年度は、継続して実施している事業のほか新たに依頼のあった事業もあり高い実績値となった。引き続き、新規の連携に取り組んでいく。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	10件	12件	15件
実績値	20件	26件	

### 基本方針Ⅲ 市民との協働による図書館運営の推進

評価項目	12 ボランティア活動実績		
内容	ボランティアの活動について活動量を把握し、どのくらい図書館へ興味を持ち協力してくれているか調査する。一日で複数の作業の場合まとめて1カウント。数日数にわたる場合は日付ごとに1カウントとし、延べ人数とする。		
令和4年度の 結果	目標達成率142%。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から縮小されていたサービスが再開されてきたこともあり、ボランティアの活動も活発化されてきている。こども図書館では、配架や花壇の手入れなどを行うボランティアが新たに開始された。		
令和5年度の 算出根拠	ボランティアの活動しやすい環境を作り、ボランティア活動の活発化を図る。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	合計1,000人	合計1,800人	合計2,000人
実績値	合計1,807人 市立図書館 1,532人 こども図書館 275人	合計2,558人 市立図書館 2,130人 こども図書館 428人	

### 基本方針Ⅳ 生涯にわたる読書活動の推進

評価項目	13 12歳以下の子ども1人当たりの貸出数		
内容	子どもの貸出数を調査するに当たり、人口当たりに換算することで利用の活発な他の自治体と比較することが可能になる。市内の12歳以下の利用者貸出数合計÷市内12歳以下の人口で求める。		
令和4年度の 結果	目標を達成できなかった。市内の12歳以下の利用者貸出数101,948冊÷市内12歳以下の人口7,057人＝14.4冊。(達成率90%)		
令和5年度の 算出根拠	令和4年度実績とほぼ同数とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	13冊	16冊	14冊
実績値	15.5冊	14.4冊	

評価項目	14 高齢者施設への団体貸出数		
内容	年間の高齢者施設への貸し出し合計を指標とする。高齢者の中でも来館の難しい利用者への貸出数を調査する指標とする。		
令和4年度の 結果	目標達成率114%。目標を達成できた。		
令和5年度の 算出根拠	令和4年度目標値とほぼ同数とする。		
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	1,000冊	1,100冊	1,100冊
実績値	1,189冊	1,259冊	